

平成30年度

帯広市文化賞

帯広市文化活動功労賞

平成30年11月3日

帯広市教育委員会

帯広市文化賞受賞者



酒井 奈々子 (67歳)

《受賞理由》

氏は、母の荒田マツエ氏がアイヌ文化の伝承活動を行っていた環境の中で、昭和32年に十勝アイヌウポポ愛好会（現帯広カムイトウウポポ保存会）へ入会し、幼少期よりアイヌ古式舞踊の修得に努められました。

以来、アイヌ古式舞踊の踊り手、ウポポ（アイヌの伝統的な歌）の歌い手として、北海道内外のイベントに多数出演するなど活躍されており、その技能は斯界で高く評価されています。

また、氏は、平成15年から帯広カムイトウウポポ保存会の会長に就任され、古式舞踊やウポポなどの指導を通じ、次代へのアイヌ文化の伝承に尽力するなど、地域のアイヌ文化の保存・伝承に多大な貢献をされています。

このような氏の永年にわたる活動は、地域文化の向上発展に大きく寄与し、特に功労が顕著であると認められることから、帯広市文化賞を贈り顕彰するものです。

《略 歴》

- | | |
|--------|--|
| 昭和32年 | 十勝アイヌウポポ愛好会（現帯広カムイトウウポポ保存会）入会 |
| 平成15年～ | 帯広カムイトウウポポ保存会 会長 |
| 平成19年 | 国際民俗芸能フェスティバル出演（文化庁主催） |
| 平成27年 | （公財）アイヌ文化振興・研究推進機構（現（公財）アイヌ民族文化財団）アイヌ文化奨励賞受賞 |
| 平成28年 | 2017年アジア冬季競技大会開会式 ウエルカムパフォーマンス出演 |
| 平成30年 | 北海道150年記念式典出演（北海道主催） |

帯広市文化活動功労賞受賞者



山内 欣子 (79歳)

《受賞理由》

氏は、大学卒業後、帯広市内の中学校で音楽教諭や十勝教育局音楽指導員等を務める傍ら、平成元年からは高齢者女声合唱団「シルバーコーロアミーチ」の指導・指揮を担当し、歌による高齢者の生きがい、健康づくりに尽力されています。こうした中、平成3年には日本の歌をうたう「あかねぐもの会」を発足させ、誰もが気軽に歌うことのできる場所づくりに取り組まれたほか、「全道童謡・唱歌をうたうつどい」の創設活動や帯広地方の子守歌「赤い山青い山白い山」の伝承活動など、音楽の裾野を広げる活動に努めてこられました。

また、音楽療法士としての活動や、チャリティーコンサートの収益金を福祉活動へ寄附するなど、音楽を通じた福祉活動にも尽力されています。

このような氏の永年にわたるひたむきな努力は、地域文化の向上推進につながり、その活動と功績が顕著であると認められることから、帯広市文化活動功労賞を贈り顕彰するものです。

《略 歴》

昭和37年～平成11年

中学校音楽教諭、十勝教育局音楽指導員等として勤務

平成 元年～ シルバーコーロアミーチ指導・指揮

平成 3 年～ 日本のうたをうたう「あかねぐもの会」発足、代表就任

平成 5 年～平成29年

山内欣子チャリティーコンサート開催（計5回）

平成11年 全日本音楽療法連盟（現日本音楽療法学会）認定音楽療法士資格取得

平成17年 「北海道童謡唱歌をうたう会」初代会長就任（現在顧問）

平成23年 帯広市民劇場賞受賞